



2007年10月25日

各位

会社名 株式会社ジーエヌアイ
代表者名 代表取締役会長兼社長 佐保井 久理須
(コード番号:2160 東証マザーズ)
問合せ先 専務取締役 CFO 鈴木 勘一郎
(TEL. 03-3580-0751)

中国におけるがん治療の標的遺伝子に関する特許取得について

株式会社ジーエヌアイ（本社：東京都千代田区、代表取締役会長兼社長・医学博士：佐保井久理須、以下、当社）は、当社が PCT 国際出願したがん治療と診断に有益な 3 つの遺伝子/タンパク質「ULBP4、ULBP5、ULBP9/10」について、中国特許庁から当社に対し 3 つの中国特許（ZL 02828432.1、ZL 02829568.4、ZL 03826049.4）が付与されましたので、お知らせいたします。今回の特許取得により、当社の知的財産ポートフォリオは飛躍的に拡充します。

ULBP タンパク質は大腸がんや胃がん、肝臓がん、肺がんなどにおいて高頻度で発現し、免疫細胞により認識され体内で攻撃されます。この現象はがんに対する重要な免疫監視プロセスです。さらに、このタンパク質の一部はがん患者の血液中に見られるため、こうしたがん関連タンパク質の同定により、当社では各種がんに対する新規分子標的治療薬の開発や高感度診断法の開発が可能となりました。

当社の CSO であるジュン・ウー(Jun Wu)博士は、「ジーエヌアイの研究成果はこれまで様々な学術雑誌に記載されています。今回の特許取得と併せ過去 6 年にわたるがん研究の着実な進展が評価されたことを嬉しく思います。今後も引き続き、有効な創薬ターゲットや治療法の開発に注力していきます」と述べています。

ジーエヌアイについて

2001年設立の臨床段階にある創薬企業、活動拠点を日本と中国に有する。ジーエヌアイは、ヒト遺伝子ネットワークによる解析を成功、遺伝子ネットワーク技術を医薬品開発に応用しており、中国において臨床段階にある創薬候補物を複数パイプラインに持つ。2005年に中国上海ジェノミクスを傘下に収めたことにより、上海における研究および開発の拠点を構築。両社の統合は、主要な世界的製薬会社との共同研究に結びついている。2007年8月ジーエヌアイは東証マザーズに株式上場(証券コード: 2160)。詳細は <http://www.gene-networks.com/>、<http://www.shanghaienomics.com> をご覧ください。